

2008年8月7日

各位

双日株式会社

双日、アンゴラ最大のセメントプラントを受注  
～ アフリカ戦略の一環として産業振興支援を積極的に展開 ～

双日株式会社は、アンゴラ共和国のセメント事業会社である FCKS 社（本社：ルアンダ、Fabrica de Cimento do Kwanza-Sul Limitada）がルアンダの南約 200 キロメートルに位置するスンベ地区で建設を計画しているセメントプラントおよび関連インフラ設備一式を受注致しました。アラブ首長国連邦（UAE）の総合工事業者である ETA スターインターナショナル社（本社：ドバイ、ETA Star International LLC）と共同で受注したプラントの受注金額は 530 億円（約 5 億ドル）で、日量 4200 トンのセメント生産が可能なアンゴラ最大のセメントプラントとなります。セメントプラントの主要機器は、世界有数のセメント建設会社であるデンマークの FL スミス社（本社：コペンハーゲン、FL.Smidth A/S）から調達し、2011 年の完成を予定しています。

アンゴラは、アフリカ有数の産油国で、豊富なエネルギー・金属資源を背景に経済が急速に発展しています。経済成長に合わせてインフラ設備などの建設案件が多く計画されており、セメントの需要が高まっています。今回、双日が受注したセメントプラントはアンゴラ最大となり、同国のセメント需要とされている年間 500 万トンの内、約 25% を満たすことができる設備となります。

双日は、長年にわたりアンゴラとの友好関係を築いており、1991 年から 2003 年までに総額約 10 億ドルの融資を実施（全額回収済み）するなど、同国の産業振興に取り組んできました。今後もアンゴラでは旺盛なセメント需要に応えるべく新規のセメントプラント建設が予定されているとともに、様々な産業振興関連プロジェクトも計画されています。双日は今回のプラント受注に続き、鉄鋼事業やガス有効利用事業を始め、工業団地の建設など複数案件をアンゴラ政府に提案するなど、今後ともアンゴラを始めとするアフリカ諸国の産業振興に貢献すべく、投資を含めた積極的な協力を行って参ります。



以上

【本件に関する問い合わせ】  
双日株式会社 広報部 03-5520-2299